

# 木古内駅を有人化

## 道方針 工務部門も増員

道は8日の道議会新  
幹線・総合交通体系対  
策特別委員会で、20  
16年3月の北海道新  
幹線開業に伴いJRか  
ら江差線の一部を引き  
継ぐ第三セクター鉄道  
について、当初は無人  
化を想定していた木古  
内駅（渡島管内木古内  
町）に新たに人員配置  
するほか、施設・整備  
の維持管理体制の充実  
のため、工務部門も増  
員する方針を明らかに

した。JR北海道のレ  
ール検査データ改ざん  
問題などを受け、安全  
確保のための措置。  
JRから引き継ぐ五

稜郭―木古内駅間（37  
・8キロ）の6割は、デ  
ータ改ざんが発覚した  
函館保線管理室が管轄  
している。

固めていた。  
木古内駅の有人化や  
工務部門の増員もその  
一環。

ただ、三戸部正行交  
通政策局長は「業務の  
集約化や必要な外部委  
託を行う」と述べ、当  
初想定55人から増員  
するものの、人件費の  
増加による経営圧迫を  
避けるため、増員数は  
最小限にとどめたい考  
えを示した。

民主党・道民連合の  
梶谷大志氏（札幌市清  
田区）への答弁。  
道は16日に渡島総合  
振興局で開く沿線の函  
館、北斗両市と木古内  
町との開業準備協議会  
で、三セクの会社形態  
や要員などを盛り込ん  
だ経営計画原案を示  
す。

三セクは開業当初か  
ら厳しい経営が見込ま  
れるため、道は複数業  
務を兼務させる形で社  
員数を55人に抑える想  
定だったが、データ改  
ざんを受け、安全担当  
の職員らの増員方針を

最小限にとどめたい考  
えを示した。

道は16日に渡島総合  
振興局で開く沿線の函  
館、北斗両市と木古内  
町との開業準備協議会  
で、三セクの会社形態  
や要員などを盛り込ん  
だ経営計画原案を示  
す。